



学校だより



かりやす



「か」しく 「り」りしく 「や」さしく 「す」こやか

10月号

発行日：令和7年10月1日

本校HP



「本は心と頭の栄養」

校長 遠田 滋



9月になっても厳しい暑さが続きましたが、最近は朝晩に涼しさを感じるようになり、季節の移ろいを実感します。

先日は、さわやかな秋空のもと、運動会を無事に行うことができました。保護者の皆様ならびに地域の皆様には、早朝よりご協力を賜り、また温かいご声援をいただき、誠にありがとうございました。今年度は運動会を従来の得点を競う形式から、1人1人が力を発揮し競う形式にしました。最後まで全力を出し、きびきびと動く姿がどの子にも見られうれしく思いました。最後の種目「くりからリレー」では、児童代表と保護者代表の熱戦が繰り広げられ、感動を与えてくれました。これまで運動会で培った力を今後の学校生活に生かしていったほしいものです。

さて、「スポーツの秋」「食欲の秋」といったように、秋にはさまざまな楽しみがあります。その中でも、10月は「読書の秋」に取り組んでほしいと考えています。「読書の秋」という言葉は、秋が読書に最も適した季節であることに由来します。中国・唐代の文人、韓愈（かんゆ）の詩の中には「燈火（とうか）親しむべし」という一節があります。これは「秋の夜は涼しく心地よく、灯りの下で読書をするのに最適である」という意味で、この言葉が「読書の秋」の由来になっているといわれています。

読書の効果は、知識が身につく・想像力が豊かになる・語彙が増える・感受性が育つ・ストレス解消等々数えきれないほどあります。これらの効果は心と頭に栄養を与えてくれます。秋は落ち着いて読書をするにはもってこいの季節です。まずは自分の好きなジャンルの本を



1冊手に取り、読んでみてほしいと思います。毎週火曜日と金曜日には学校図書館に司書の表先生が来られますので、読書の相談やアドバイスをいただくのもおすすめです。ご家庭でもこの機会に親子読書をしたり、読み聞かせをしたりして、本に親しんでいただければと思います。日々の暮らしの中で、本が身近な存在となるよう、ご協力をお願いいたします。

運動会の一コマ

